

市長・教育委員長の 施政方針演述に 対する質問 **Q**&**A** **【抜粋】**

【次期総合計画の策定は】

質問 現行総合計画を継承する次期計画の策定に当たっては、住民との協働で市民のアイデアや意見を取り入れながら、行っていくと理解したがそれによいのか。

答弁 計画をもとに目標に向かって行政を進めていく。計画を策定する上においては、市民各般の意見を取り入れることはもとより、協働のまちづくりも大きなまちづくりの施策として欠かすことのできないものである。具体として、総合計画とは違うのかも知れないが、今年は、協働の提案テーブルという形で、我々の方から願うこともあるし、民間またはNPOの団体からお話をいただく場合もある。と



小沢昌記市長

もに力を合わせ、具体の施策に力を入れて、ひとつひとつを大切にしていきたいと考えている。

【官民一体の防災対策は】

質問 官民一体となった防災体制とは、どのような姿をイメージしているのか。

答弁 災害時には、非常備並びに常備消防団等の官が中心となり、対応していくが、地域が主体となる自主防災組織の活動も充実させて、公助に加えて地域の共助、さらには、個人も災害に関心をもって、自主を治めていく形のものを一体的に進めて、災害を最小限に治めるよう取り組んでいく。



昨年の市総合防災訓練（水沢公園会場）

【女性の声を聞く体制を】

質問 施政方針の中に、まだまだ女性の声や意見が反映されていないのではないかと。特にも人口減少、子育てや介護、地域づくりということに女性の声が大事になってくるのではないかと考えるが。

答弁 各種委員会等においては、積極的に女性委員の登用を考え、できるだけ参加してもらい、その発言が市の施策に反映される様な状況を努力して作っていききたい。

【指定管理後の代表者は】

質問 地区センターへの指定管理者制度を導入した後、誰が代表者になるのか。

答弁 受け手としては、地区振興会に限定しようと考えている。従って、その組織の中の代表として位置づけられた方に、代表者の役割を担っていただきたい。

【ほだ木の状況は】

質問 しいたけのほだ木が今、どのような状況になっているのか。また、ど